

2017年1月24日

東急ファシリティサービス株式会社

本社勤務員を対象としたエレベーター閉じ込め救出訓練を実施 ～お客様の安全確保を第一に～

東急ファシリティサービス株式会社（本社：東京都目黒区、社長：高橋 俊之）は、甚大な被害が予想されている首都直下地震が発生し、万一、施設をご利用されるお客様がエレベーターに閉じ込められた際に、迅速な救出を図るため、2017年1月15日、当社本社において、エレベーター保守会社と連携した救出訓練を実施し、本社に勤務する役員をはじめ、各部門の従業員（自衛消防隊員）19名が参加しました。

大震災が発生した際は、広範囲で一斉にエレベーターが停止するだけでなく、道路や通信等のインフラも麻痺するため、エレベーター保守会社のみでの対応では困難となり、当社が管理業務を担う各施設で、お客様を長時間に亘り救出できないことが予想されます。そのため、本訓練を渋谷ヒカリエ、たまプラーザ テラス等の施設においても既に実施していますが、今回、本社勤務員を対象とした訓練を実施することで、防災意識の組織的な向上を図り、さまざまな施設に本訓練を展開するとともに、本社勤務員が技術を習得することで、災害時における各施設へのバックアップ体制を強化するために実施したものです。



当社は、施設をご利用されるお客様の安全確保を最優先に取り組むため、当社が管理する施設に本訓練を積極的に展開するとともに、被災時におけるお客様の事業継続および早期復旧に貢献するため、さまざまなBC活動を推進してまいります。

【本件に関するお問合せ】

経営統括室 総務部 総務課 （担当：中嶋・遠藤）

TEL：03-5722-1111 FAX：03-5722-1138